

令和7年度 第1回 全国健康保険協会千葉支部評議会概要報告（速報）

開催日	令和7年7月8日（火） 10:00 ～ 11:45
開催場所	日本生命千葉駅前ビル4階 千葉支部会議室
出席者	尾関評議員、椎名評議員、新谷評議員、中曽根評議員、長根評議員、中野評議員、宮本評議員、山口評議員、山本評議員（五十音順）
議題	1. 協会けんぽの2024（令和6）年度決算（見込み）等について 【報告事項・審議事項】 2. 令和6年度千葉支部事業報告について【報告事項】 3. その他報告について【報告事項】
議事概要（主な意見等）	
事務局より、各議題について説明を行った。 各評議員からのご意見等は以下の通りである。 1. 協会けんぽの2024（令和6）年度決算（見込み）等について【報告事項・審議事項】 【学識経験者】 その他支出について、今回、システム経費が増加したということだが、システム基盤のリース満了等への対応は今後も定期的に発生すると考えるが、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対する対応等について今後の見込みを教えてほしい。 【事務局】 マイナンバーカードと健康保険証の一体化は制度改正となるため、システム改修（マイナンバーによる届書の入力処理・問い合わせ対応等）が必要となったが、全体的な改修はほぼ完了しているため本改修の経費について今後は減少していく見込みである。一方で、電子申請の開始に向けたシステム改修等に対する経費が今後見込まれる。 【被保険者代表】 千葉支部の収支状況について、地域差分が▲7.47億円となり、次年度の千葉支部保険料率算定への精算として現時点の総報酬額で換算すると+0.03%となるというのは想定内のものだったのか。 【事務局】 地域差分が▲7.47億円となった一番の要因はコロナにかかる医療費である。2023年度の地域差分はコロナにかかる医療費が他の支部よりも低くなったことが要因となりプラスとなった。しかし、2024年度においては、他の支部ではコロナの医療費が当初の見込みより低くなった一方で、千葉支部は元々低い医療費だったことが影響し、コロナの医療費が当初の見込みより高くなった。コロナの動向は不透明なところもあり、ここ数年は各支部においても地域差分が年度ごとにプラスとなったりマイナスとなったりするような状況が多く発生しており、当初から想定することは難しい。	

【被保険者代表】

今回の決算見込みは大幅に黒字となり財政状況が順調に見えるが、その上で今後の保険料率の動向は加入者も注視しているところである。一方で不安定な社会情勢や今後の医療費等の増加見込み等も踏まえ、中長期的に健全な財政運営を行っていく必要があるということを加入者・事業主に対して理解してもらえよう、今回の決算見込みや積み上がった準備金残高について丁寧に周知・報告を行っていただきたい。

【事業主代表】

今後も賃上げにより標準報酬月額が増加が見込まれるというが、これは一般論であり、協会の加入事業所の多くを占める中小企業においては、政策的に言われているところまでの賃上げには対応できないというのが実状である。今後、保険料率の議論を行う際はそういった実情を念頭に置いていただきたい。

【事務局】

次年度の保険料率に関する議論を行う際は、本部にて今回の決算見込み及び直近の経済情勢等を踏まえた新しい収支見通しを本部の運営委員会に諮ったうえで作成し、支部評議会でも丁寧な説明をさせていただく。

2. 令和6年度千葉支部事業報告について【報告事項】

【学識経験者】

説明にもあったとおり、予算執行率と各事業の達成状況は連動しないという点は理解している。公共事業の悪いところで予算執行率が低いと翌年度予算がつかなくなるみたいなことは非常に非効率であると考え。むしろ、少ない執行額で事業を達成できている点は評価されるべきであり、本部には、次年度以降の支部の予算が縮小にならないよう配慮や支部へのインセンティブの付与等の仕組みを検討していただきたい。

【事務局】

支部保険者機能強化予算の執行率については協会全体で低い状況となっており、本部としても危惧しているところである。予算残を有効活用するよう本部からも指示されているため、年度途中で予算残が生じる見込みの際は、事業規模の拡大や医療費適正化や健康課題の解決に資するような新たな施策の実施等を評議会でもご意見を賜りながら検討していきたいと考えている。

【学識経験者】

弁護士による債権回収を行っているとのことだが、回収率はどの程度か。また、債務者へは返納しなかった場合にペナルティ（差押え等）があることを周知するべきである。

【事務局】

回収率は10～20%程である。弁護士催告を通じて債務者と接触する機会が生まれるため、債権回収の方法として有効なものとなっている。

【被保険者代表】

LINE やホームページについて必要な情報にたどり着くまでに時間がかかる。コンテンツを取捨選択し、加入者にとって見やすいものとなるよう工夫してほしい。また、封筒に LINE 等の二次元コードを掲載し、制度周知の場として有効活用してはどうか。

【事務局】

封筒は本部一括調達となるため即時の対応は困難であるが、要望として本部に伝える。

3. その他報告について【報告事項】

特に意見なし。

特記事項

・次回は令和7年10月に開催予定。